

報道関係者各位

2025 年 4 月 1 日

株式会社スーパーホテル

「サステナホテル」を掲げ、脱炭素経営で業界をリードするスーパーホテル、  
「CO2 実質ゼロ泊」により 2025 年度内での宿泊時の CO2 実質ゼロ実現へ  
年間約 24,000 トン分の CO2 削減で 2043 年度までのカーボンニュートラル実現を目指す

「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに国内 173 店舗のホテル運営を手掛ける株式会社スーパーホテル（所在地：大阪府大阪市、代表取締役社長：山本健策）は、4 月 1 日を夢を発信する日にしようとする April Dream に賛同しています。このプレスリリースは当社の夢です。



実質  
CO<sub>2</sub>ゼロ泊  
ようこそCO<sub>2</sub>ゼロのホテルへ

きれいな空気、  
きれいな水、  
きれいな言葉、  
きれいなホテル。

そして地球も同じようになったらいいですね。  
(お客様のお声より)

4月1日は April Dream

※電力の再生可能エネルギーを使用、およびカーボン・オフセットを行うことで、Scope 1+2におけるカーボンニュートラルを実現しています

2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて社会全体が環境保全活動に取り組む中で、スーパーホテルは、業界唯一の環境大臣認定「エコ・ファースト企業」として「サステナホテル」のビジョンを中核に据えて 2043 年度までにカーボンニュートラルの実現を目指しています。

スーパーホテルは長年にわたり環境負荷低減の取り組みを続けており、既に CO2 排出量を業界の中でも最小限に抑えておりますが、脱炭素経営をさらに加速するべく昨年 10 月に国内大規模チェーンホテルで初めて（当社調べ）、全宿泊を対象に、お客様の宿泊時に発生した二酸化炭素排出量の 100%をカーボン・オフセットにより相殺する「CO2 実質ゼロ泊」を導入し、また、全店舗で消費する電力を非化石証書調達を利用した実質 CO2 フリー電力へ切り替えました。これらの CO2 削減に向けた取り組みにより年間約 24,000 トンの CO2 排出量を削減ができる見込みで、まずは 2025 年度内でのサプライチェーン排出量 Scope 1, 2（※1）における、宿泊時の CO2 実質ゼロの実現を目指します。

※1) サプライチェーン CO2 排出量の定義：Scope 1, 2, 3

カーボン・ニュートラル社会実現に向け企業にはバリューチェーン全体で CO2 の削減に取り組みが求められます。CO2 排出量は排出源別に Scope 1, 2, 3 に分けられます。

	一般的な CO2 排出カテゴリ	ホテルでの CO2 排出例	スーパーホテルの取り組み
Scope 1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	宿泊に伴うガス、水道使用による CO2 排出	(カーボン・オフセット対象者) 2010 年～ 公式サイト予約のみ 2024 年 10 月～ 全宿泊対象
Scope 2	他社から供給された電力や熱、蒸気の使用に伴う間接排出	宿泊に伴う電力使用による CO2 排出	(実質 CO2 フリー電力への切り替え) 2022 年 12 月 1 日～ 40 店舗 2024 年 10 月 1 日～ 全店舗に順次導入
Scope 3	Scope1、Scope2 以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)	・アメニティ等の備品 (製品ごとの製造、運送) ・社員の出張、移動等による CO2 排出など	SBT 認定の取得を目指しサプライチェーンを巻き込んで CO2 削減を目指す

## ■ カーボンニュートラル実現に向けたスーパーホテルの取り組みとこれまで

### (1) 2001 年 水俣での気付き

熊本県水俣市から環境保全重視の街づくりへの協力を要請され、2001 年に環境 ISO を取得したことが、スーパーホテルの「サステナホテル」への取り組みの始まりでした。環境 ISO 取得に伴う省資源・省エネルギー・リサイクルの推進により、波及の効果として建物や街がきれいになっただけに留まらず、エコな活動には地球だけでなく地域の方やホテルの従業員など、関わる人たちも元気にする力があることに気が付きました。

以来、環境への取り組みを重要課題に掲げて 2001 年から環境保全活動に力を入れ、省エネルギー設計やグリーン IT、ISO14001 の取得といった取り組みにより、CO2 排出量削減を進めてまいりました。

2008 年からは、連泊時の清掃不要のお申し出や、宿泊時に使わなかった歯ブラシと引き換えにミネラルウォーターや地域のお菓子をプレゼントする、お客様参加型の環境活動「エコひいき活動」も始まりました。

### (2) 2010 年 「ECO 泊」によるカーボン・オフセットの開始

「CO2 実質ゼロ泊」の前身で、スーパーホテルの公式ホームページから予約すると 1 泊の宿泊で発生する CO2 分をスーパーホテルがクリーンエネルギー事業に投資することで 100%カーボン・オフセットする「ECO 泊」が始まったのは 2010 年にさかのぼります。これは、ホテル業界初の取り組みでした。

2024 年 3 月末時点、「ECO 泊」宿泊数は延べ 25,436,627 泊となり、これによるカーボン・オフセット累計削減量は 135,464 トンに達しました。

※カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動で排出された二酸化炭素などの温室効果ガスについて、削減努力をしてもどうしても削減できない分を植林・森林保護・自然エネルギー事業などで埋め合わせすること。

また 2011 年には、それまでの環境活動が評価され、業界で唯一環境大臣より「エコ・ファースト企業」に認定されました。

## (3) 2024 年 CO2 実質ゼロ泊の導入



2024 年 10 月 1 日より、スーパーホテルのカーボンニュートラル実現に向けた取り組みは、公式サイトからの予約を対象にしていた「ECO 泊」を全宿泊対象に拡大した「CO2 実質ゼロ泊」として生まれ変わりました。これにより、年間 600 万泊弱で 2 万 4000 トン相当の CO2 排出量削減につながります。（2023 年度の排出量実績参照）

スーパーホテルはホテル業界におけるサステナブルのトップランナーであるライフスタイルホテルチェーンとして今日まで運営してきました。また今後は単に環境に優しいホテルというだけに留まらず、地域社会と共に発展し、地方創生に貢献する存在でありたいと考えています。これまでも「食と泊」や「ご当地結びスタ」といったプロジェクトを通じて地元の飲食店と連携し地域経済の活性化に力を注いできましたが、今後は行政とも密に連携して官民一体となった取り組みへと発展させていくべく、様々な取り組みを推進しています。

スーパーホテルは、ホテルは街づくりの起点になると考えています。宿泊施設があるから人が集まり、人が集まるから街が発展する…そんな地域の担い手になることも、サステナホテルとして目指すところです。今後も、私共が大切にしている「**日常の感動のおもてなし**」を進化させてまいります。

「April Dream」は、4 月 1 日に企業がやがて叶えたい夢を発信する、PR TIMES によるプロジェクトです。私たちはこの夢の実現を本気で目指しています。

**【株式会社スーパーホテルについて】**

「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに、健康でサステナブルなライフスタイルを提案するホテルとして国内 173 店舗、海外 1 店舗（ミャンマー）を運営。環境大臣が先進的・独自の、業界をリードする環境保全の取り組みを行っている環境先進企業と認定する「エコ・ファースト制度」※で、ホテル業界で唯一認定を受けています。

環境保全活動以外にも地域活性化や次世代支援などの SDGs 活動に積極的に取り組んでいます。

公式サイト：<https://www.superhotel.co.jp/>

SDGs の取り組み：<https://www.superhotel.co.jp/sdgs/>

SDG s REPORT 2024：[https://www.superhotel.co.jp/kaisya\\_r/eco\\_report/2024/report.pdf](https://www.superhotel.co.jp/kaisya_r/eco_report/2024/report.pdf)

※「エコ・ファースト制度」について：<https://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/>

**【報道関係のお問い合わせ先】****（スーパーホテル PR 事務局：共同ピーアール）**

担当：遠藤、大島

TEL：06-4400-9641

E-mail：[superhotel-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:superhotel-pr@kyodo-pr.co.jp)

**（株式会社スーパーホテル）**

本社：〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町 1-7-7

TEL：06-6543-9000

E-mail：[pr@superhotel.co.jp](mailto:pr@superhotel.co.jp)